

三内丸山通信



新たに見つかった環状配石墓 (第23次調査区)

23次調査

第二十三次調査は、集落西側の墓と道路跡の調査で

す。去年までの調査で、道路跡と、これに沿うように並ぶ縄文時代中期中頃〜終わり頃（今から四千五百年〜四千年前）のものと考え

平成14年度

発掘調査の成果

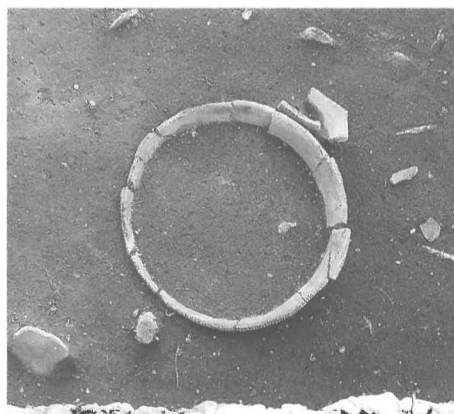
今年度の発掘調査は、五月十三日から十月三十一日まで、三地点（第二十三・二十四・二十五次調査区）で行いました。

られる墓の列が見つかっています。おとしまでの調査では、墓は道路跡の上の斜面でしか見つかっていませんでしたが、昨年の調査で道路跡をはさんだ向かい側でも二基の墓が見つかりました。今年度はさらにその続きの部分を調査したところ、新しく六基の環状配石墓が確認され、墓が道路跡の両側に並んでいることがわかりました。今まで確認された墓と道路跡の長さは約二百六十メートルで、さらに南東へ広がる可能性があります。

24次調査

第二十四次調査は、遺跡の西端にある墓と道路跡の調査です。去年までの調査で、縄文時代中期の墓の列が約四十メートルにわたって確認されています。今年

度の調査では、道路跡はさらに広がり、約八十メートルにわたって確認されました。さらに、道路跡の東側でも墓を確認し、道路跡の両側に墓が存在することが明らかになりました。また、子どもの墓と考えられている土器埋設遺構も見つかっています。



土器埋設遺構 (第24次調査区)

25次調査

第二十五次調査は、遺跡の北西側斜面の調査です。これまでの調査で四十七個の柱穴が確認され、少なくとも六棟の掘立柱建物があったと推定されました。おとしには、このうち二個の柱穴を調査し、中から出土したクリの木の柱を詳しく分析しています。今年度はこれと同じ建物になると推定した柱穴を調査しましたが、柱穴の大きさや柱の痕跡からみて、別の建物の柱穴であることがわかり、今後も調査を継続することにしました。

開催予告

東北新幹線八戸駅開業記念縄文シンポジウム

「輝け！ 北の縄文 2003」

平成15年1月19日(日)
午前10時半～午後4時
八戸市公会堂にて

第1部 遺跡からの報告

- 【宮畑遺跡 (福島県)】
斎藤義弘 (福島市教育委員会)
- 【御所野遺跡 (岩手県)】
高田和徳 (一戸町教育委員会)
- 【小牧野遺跡 (青森県)】
児玉大成 (青森市教育委員会)
- 【三内丸山遺跡 (青森県)】
中村美杉 (青森県教育庁)
- 【是川遺跡 (青森県)】
村木 淳 (八戸市教育委員会)

第2部 パネルディスカッション 「輝け！ 北の縄文」

- 岡村道雄 (奈良文化財研究所)
- 岡田康博 (文化庁)
- 斎藤義弘 (福島市教育委員会)
- 高田和徳 (一戸町教育委員会)
- 児玉大成 (青森市教育委員会)
- 村木 淳 (八戸市教育委員会)
- 中村美杉 (青森県教育庁)

第3部 トーク「縄文探検」

- 小山修三 (国立民族学博物館名譽教授)
- 岡村道雄 (奈良文化財研究所)
- 竹下景子 (女優)

■入場方法 先着順 ■入場料 無料
青森県教育庁文化財保護課 三内丸山遺跡対策室
TEL 017-734-9924

